



■グローバル人材の育成 NANZAN SPARK

アントレプレナーシップ（未来を切り拓く意志を持って自ら行動する姿勢）を養成するプログラム「NANZAN SPARK」では、本学の教育モットー「人間の尊厳のために」と長年培ってきた国際性を掛け合わせ、課題発見・解決手法などのスキルや地球規模の関心を持って課題に向き合う力を身につけることができます。また、本学は2024年に名古屋市にオープンしたインキュベーション施設「STATION Ai」に入居しており、連携した活動も行います。



■南山大学は、ジブリパークのオフィシャルパートナーです。

ジブリパークは「自然の叡智」「人、いきもの、地球に対する愛」を理念に、地球規模の課題の解決の方向性と人間の生き方の発信を目的として開催された「愛・地球博」の精神を継承する構想が立てられています。その方針が、本学の理念や取り組み内容と一致することから、オフィシャルパートナーとして応援することとしました。



©Studio Ghibli

「教育の場」でもあり、様々な文化や国籍、言語、宗教、価値観などを持つ学生たちが共に暮らし学びあう国際性豊かな学生宿舎です。全入居者を対象に年間を通じて提供される「教育プログラム」は、Living「毎日の生活での実践」、Learning「対話型のスキル養成講座」、Socializing「学生企画の交流イベント」の3つのモードで構成されており、入居者はインプット・実践・振り返りにより学びを深めます。また、留学準備や社会人スキルの涵養など、将来のビジョンや興味関心に応じてアクティビティや役割を選び、自らの学びを主体的にデザインすることを目指します。このように寮で生活しながら、キャンパスや教育プログラムを通して得た学びを、実践し、多様な価値観を認め合い、活かしあうことで国境を越えて活躍できる力を身につけます。

キサラ学長は、「学生の皆さんには、目標を持ち、いま自分にできることを考えて一歩ずつ行動してほしい。歩みを続けていけば、やがて大きな潮流となります。南山大学での学びを通じて、一人ひとりが自身の本当の価値を見だし、地球規模の関心をもって、自ら課題を見つけて動ける人になってほしいと願っています。こうした個の力が、やがて世界を動かす力になっていくと信じています」とメッセージを贈っています。



多彩な留学プログラム
国内外で多文化交流を促す

大学の国際化を最重要課題の一つに掲げている南山大学は、交換留学、認定留学、南山・デイズニープログラムといった多彩な短期留学プログラムを実施しています。交換留学は、交流協定を締結している海外の大学へ授業料免除で学部留学する制度。交換協定校は38カ国・地域に131校あります（2025年5月時点）。認定留学は、自身が希望する留学先や留学期間を選び、履修プログラムを組み立てることができます。

派遣留学生として交換・認定留学をする学生を対象とした「南山大学派遣留学奨学金」を設け、海外留学を経済的にサポートしています。さらに、学部独自の短期留学プログラムも8学部全てで実施。授業の一環として実施される各プログラムは、語学を学ぶだけでなく、現地の文化に触れるフィールドワークや企業訪問など、学部ごとの専門性を反



細やかな就職支援で 高い就職実績を誇る

就職においても毎年高い実績を誇っています。数多くの卒業生がトヨタ自動車や三菱UFJ銀行などの国内トップ企業に就職しており、優秀なOB・OGが全世界で活躍していることは在学生にとって大きな強みとなります。キャリア支援課では、就職活動に関する基本的な内容から各種対策講座まで様々なプログラムを実施。例えば外交官や国際機関職員など国際的な活躍を目指す学生には、「国際社会で活躍するキャリアを考える特別プログラム」が用意されている



ほか、教員志望の学生の支援や相談に応じる専門機関の「就職センター」も開設しています。業界・職種研究会をはじめとするキャリアサポートプログラムでは、第一線で活躍中の卒業生が講師を務めたり、学内会社説明会には地元企業以外にも関東や関西から多数の企業が参加します。



ロバート・キサラ学長

アメリカ合衆国（シカゴ市）出身。Divine Word College数学科卒業後、Catholic Theological Union大学院神学研究科、東京大学大学院人文科学研究科修士課程および博士課程修了。2020年より現職。神言修道会日本管区長、総顧問、副総会長などカトリックの各種要職を歴任。

南山大学は、中部地区を含む西日本唯一のカトリック総合大学であり、「Hominis Dignitati（人間の尊厳のために）」を教育モットーに掲げています。

学問と人間のあり方を考える学びを土台とし、学生に寄り添う教育を実現してきました。

地球規模の問題が山積み、世界全体が不安定な状況にある現在、こうした課題を解決できる人材がこれまで以上に求められています。このような役割を果たすため、本学は「3Ds（Dignity、Diversity、Dialogue）」を使命として掲げ、「人間の尊厳の推進」「多様性の重視」「対話の場づくりとその実践」に力を入れています。対話を通じて、異なる文化や価値観を持つ人と理解し合い、多様性や尊厳を尊重しつつ視野を広げることができる教育環境は本学の大きな特徴の一つです。

南山大学

〒466-8673 愛知県名古屋市昭和区山里町18 入学センター TEL 052-832-3013 <https://www.nanzan-u.ac.jp/>

文理融合のキャンパスで
国際性と専門性を併せもつ人材を育て
「世界から選ばれる大学」を目指す

「Hominis Dignitati」（人間の尊厳のために）を教育モットーに「国境のない学びの場」を提供

南山大学では「人種、障がい、宗教、文化、性別など、様々な違いを認識し、多様性を前提とした人間の尊厳、他者の尊厳を大切に、人々が共生・協働することで、新たな価値の創造に貢献する」というビジョンを掲げており、「国境のない学びの場」とするための改革と環境整備も展開しています。世界から選ばれる大学として、「外国語で」行う授業を提供しており、経済学や文学など2025年度は約60科目を開講。日本人学生と外国人留学生との外国語による知的交流も盛んです。

国際学生宿舎「南山大学ヤンセン国際寮」で
国境を越えて活躍できる人材に

南山大学ヤンセン国際寮は、キャンパスに隣接する178室の寮室を有した学生宿舎で、1年次から入寮できます。「生活の場」の寮でありながら、教育プログラムを有する



「教育の場」でもあり、様々な文化や国籍、言語、宗教、価値観などを持つ学生たちが共に暮らし学びあう国際性豊かな学生宿舎です。全入居者を対象に年間を通じて提供される「教育プログラム」は、Living「毎日の生活での実践」、Learning「対話型のスキル養成講座」、Socializing「学生企画の交流イベント」の3つのモードで構成されており、入居者はインプット・実践・振り返りにより学びを深めます。また、留学準備や社会人スキルの涵養など、将来のビジョンや興味関心に応じてアクティビティや役割を選び、自らの学びを主体的にデザインすることを目指します。このように寮で生活しながら、キャンパスや教育プログラムを通して得た学びを、実践し、多様な価値観を認め合い、活かしあうことで国境を越えて活躍できる力を身につけます。

映させた内容になっています。他にも全ての学部学科の学生が参加できる短期留学プログラムがあります。このように南山大学では、留学や留学生の受け入れ体制の整備と強化、海外大学との連携促進を積極的に行っています。



オンラインで海外大学と連携
COIL型授業の実施

南山大学は米国を中心とした海外の大学とCOIL（Collaborative Online International Learning）と呼ばれる教育プログラム（NU-COIL）を展開しています。COILとはオンラインを活用した国際的な双方向の教育手法のことで、SNSやLMS（学習管理システム）などを使って南山大学生と海外の大学生を繋ぎ、共同プロジェクトに取り組みます。COIL型授業に加えて海外留学を経験することで、これらの社会で活躍するグローバル人材に求められる力を養います。

また、COIL型授業を受講することで留学前に現地の知合いができ、留学先での授業や生活上の不安を解消することができます。一方で、留学後の受講は、外国語運用能力の維持向上や、現地学生との関係性の継続につながります。